



デニシヨーンの活動
～新しい活動を求めて～

Denishawn ~ Looking for the new way of expression ~

Vol. 36

2012/7/25 (Wed.) ~ 2012/9/02 (Sun.)

出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

◆ルース・セント・デニスとテッド・ショーンとデニシヨーン・ダンサーのハウス・プログラム (プログラム [PR-105-HP] / 1924年3月17日、31日 / カーネギーホール、ニューヨーク) House Program of Ruth St. Denis with Ted Shawn and Denishawn Dancers / 1924.3.17, 31 / Carnegie Hall, New York, USA / 25.2×16.3cm (PR-105-HP)

◆ルース・セント・デニスとテッド・ショーンとデニシヨーン・ダンサーの来日プログラム (プログラム [PR-308-OF] / 1925年9月16日～25日 / 帝國劇場、東京) 発行者: 宇野四郎 / 出版社: 東洋印刷株式会社 / 発行年: 1939年9月1日) Official Program of St. Denis, Ruth and Shawn, Ted and Denishawn Dancers / 1925.9.16～9.25 / The Imperial Theatre, Tokyo, Japan / Editor: Shiro Uno / Publisher: Toyo Print Company / Date of Publish: 1939.9.1 / 22.4×15.3cm (PR-308-OF)

◆エジプト風衣裳をつけたルース・セント・デニスとテッド・ショーン (写真 [PH-659] / 1920年代) Ruth St. Denis and Tead Shown in Egiptian Costume / 1920's / 25.4×20.4cm (PH-659)

◆スペイン風衣裳をつけたルース・セント・デニスとテッド・ショーン (写真 [PH-660] / 1920年代) Ruth St. Denis and Tead Shown in Spanish Costume / 1920's / 25.8×20.3cm (PH-660)

Kenji Usui Ballet Collection

デニシヨーンの活動
～新しい活動を求めて～

Denishawn ~ Looking for the new way of expression ~

vol. 36

2012/7/25 (Wed.) ~ 2012/9/02 (Sun.)

デニシヨーンの活動はモダン・ダンスの歴史にとって非常に重要です。米国から発信された新しい、バレエではない踊りは多く人を魅了したのです。彼らが1925年、アンナ・バヴロワに3年遅れて来日を果たしていることは忘れられがちですが、早い時期に彼らが来日したことは日本の舞踊史を考える上でも重要なことなのです。

テッド・ショーン / Ted Shawn
(ダンサー、振付家、舞踊教師)

1891年10月21日生まれ、1972年1月9日死去

米国カンザス州に生まれ、デンバーでバレエを習い始めたが、病に倒れたため遅いデビューを飾りました。1911年にダンサーとして初めて舞台上に登場。1914年にセント・デニスの生徒となり、共にツアーで米国を回りました。彼女は公私共にパートナーとなり、翌1915年にカンパニー、デニシヨーン舞踊団を結成。デニスとの関係が破たんした後も活動を続け、70歳近くまで現役として活躍。男性ダンサーだけのカンパニーを結成して男性ダンサーへの偏見とも闘うなど活発な活動を続けました。生涯の振付作品は200以上程と多作。

ルース・セント・デニス / Ruth St. Denis
(ダンサー、舞踊教師)

1879年1月20日生まれ、1968年7月21日死去

母の意向でデルサルトの体操を幼い頃から学んだことからダンスの道へ入りました。1904年にデヴィッド・ベラスコに出会い、舞台上立つようになり、翌年には自分のカンパニーを創設。初期からエジプトや東方のオリエンタルなイメージで売り出し、人気を得ました。1914年に生徒となったテッド・ショーンと恋に落ち結婚。後にその関係が破たんした後も活動を続けました。ダンサーとしての活動の他にアデルフィ大学にダンス学科を作るなど活動も行ないました。もっとも早い時期の大学の中のダンス学科創設として重要な活動です。

デニシヨーン舞踊団

セント・デニスとテッド・ショーンが創立した学校とカンパニーの総称で1915年にロサンゼルスに開校され1931年まで存在しました。グラハム、ハンフリーといった舞踊史に重要な生徒を送りました。このカンパニーのためにショーンは190以上の作品を振付けました。オリエンタルな作風を得意とし、様々な東洋の国の舞踊を取り入れた作品で人気を得ました。

次回予告

薄井憲二バレエ・コレクション Vol.37

ミハイル・モルドキン

～ロシアで生まれ米国で愛されたダンサー～

Mihail Mordkin ~ Who born in Russia and Loved in U.S.A ~

ミハイル・モルドキンは帝制ロシアに生まれ、ポリショイ・バレエ団で大変な人気と実力を誇ったダンサーです。ディアギレフのバレエ・リュスにも参加する一方でアンナ・バヴロワの相手役としても活躍しました。革命後は米国に居を移し、米国のバレエの発展に貢献しました。今では忘れられた存在とも言えるモルドキンの魅力と功績をご紹介します。

(期間: 2012/9/5～2012/10/14 於: 2階共通ロビー・ピアッツァ)

◎企画・監修

芳賀直子(はが・なおこ/薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)